

平成22年度 中央環境審議会
第1回地域ヒアリング

野村興産における 水銀含有廃棄物の処理及びリサイクル

野村興産株式会社

平成22年8月27日



JAB

BMS accreditation
RE002



REGISTERED ORGANIZATION
No.E312

ISO 14001 認証取得

会社沿革



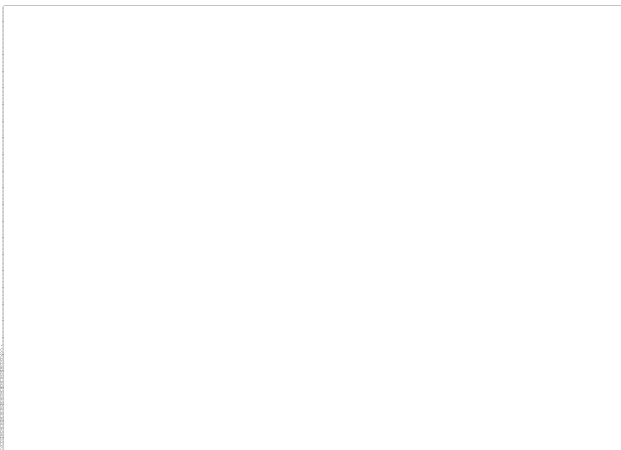
会社沿革

- 昭和11年 大雪山入山者により水銀の大鉱床を発見。
- 昭和14年 野村鉱業株式会社によってイトムカ（アイヌ語で”光輝く水”の意）鉱山と名づけられ、開発に着手。以後東洋一の水銀鉱山として生産を続ける。
- 昭和48年 野村興産株式会社を設立。
- 昭和61年 (社)全国都市清掃会議から【使用済み乾電池の広域回収・処理センター】に指定される。
- 平成 5年 WWF日本委員会による「第2回地球環境大賞」（環境庁長官賞）を受賞。



会社沿革

- 平成 9年 環境庁より「使用済み蛍光灯から断熱材、グラスウールの再生技術」について地球温暖化防止に貢献するものとして環境庁長官賞受賞。
- 平成11年 (社)全国都市清掃会議から【使用済み蛍光灯の広域回収・処理センター】の追加指定を受ける。
- 平成13年 本社、イトム力鋳業所、札幌営業所、関西営業所がISO14001認証を取得する。(平成16年 ヤマト環境センター、平成17年 関西工場取得)
- 平成16年 関西工場操業開始。(関西地区に於いて廃蛍光灯中間処理開始)
- 平成19年 循環型社会形成推進功労者として、環境大臣表彰を受賞。
- 平成20年 経済産業省「元気なモノ作り中小企業300社 2008年度版」に選定



辰砂（しんしゃ）HgS

名前の由来は、中国の辰州で産出したことによる。

辰砂を空気中で加熱すると水銀単体が遊離する。

辰砂は赤色で、赤の顔料の原料として古くから利用されてきた。

「丹」とは古代中国では辰砂鉱のこと。



自然水銀

水銀のような沸点の低い金属は、溶岩が冷え固まっても気体のまま岩石や断層の割れ目に侵入し上昇しながら冷却されていくために地表近くに分布しやすい。

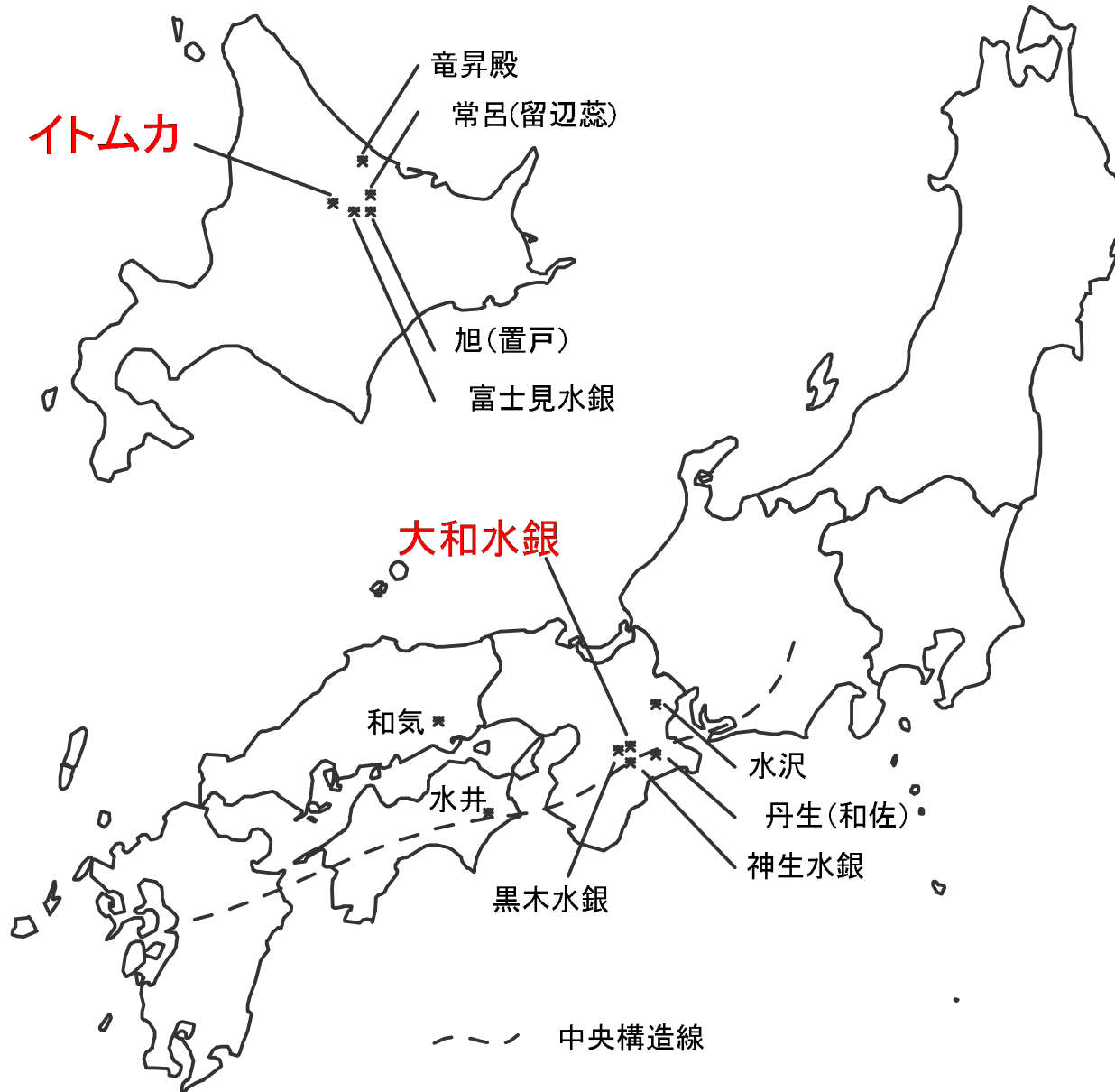
水銀は常温常圧では液体であるため、自然水銀は辰砂の鉱脈表面から汗状に吹き出したり、鉱石表面の空隙に水滴状に付着している。



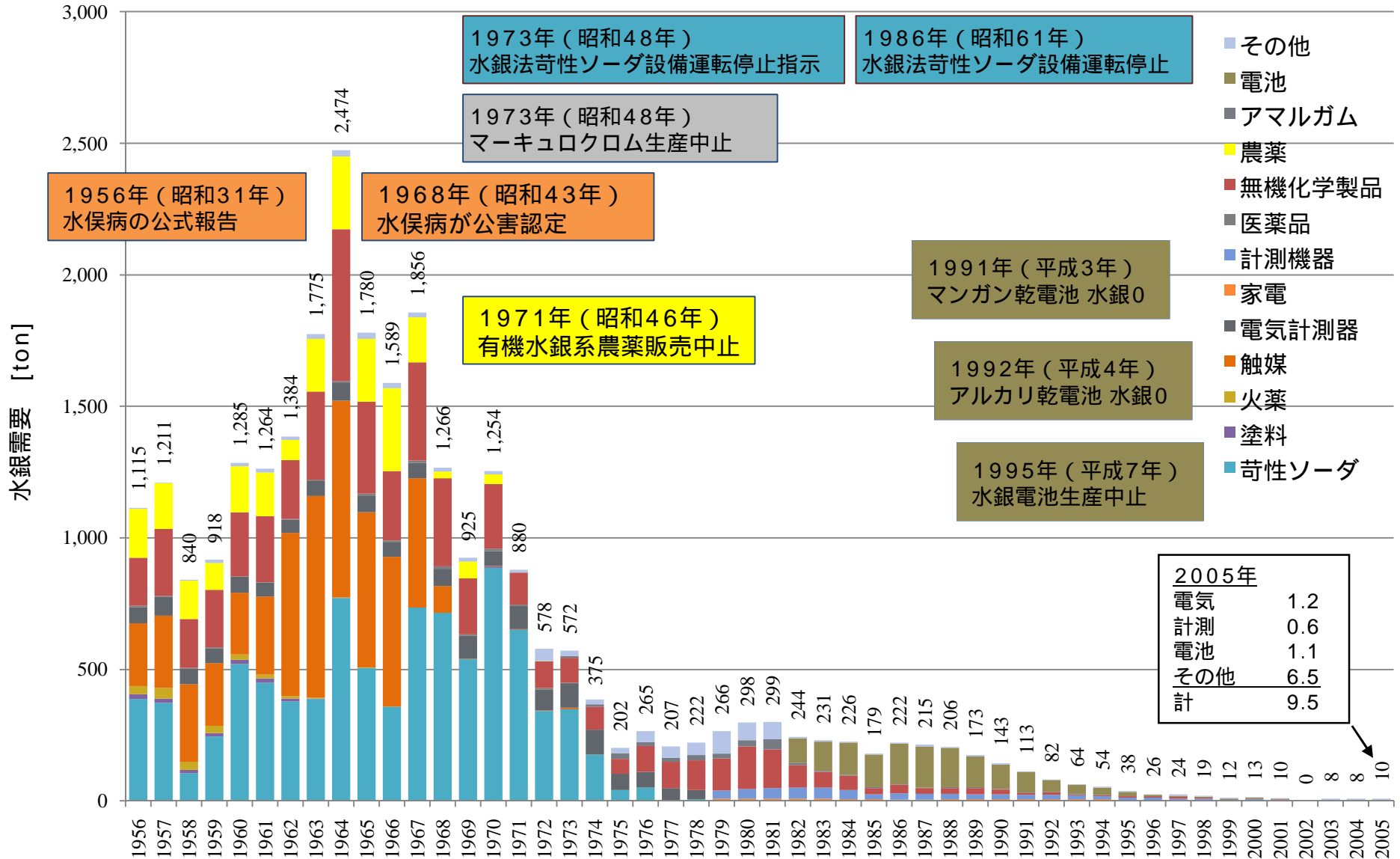
世界の水銀産出国



日本の水銀鉱山と鉱床郡

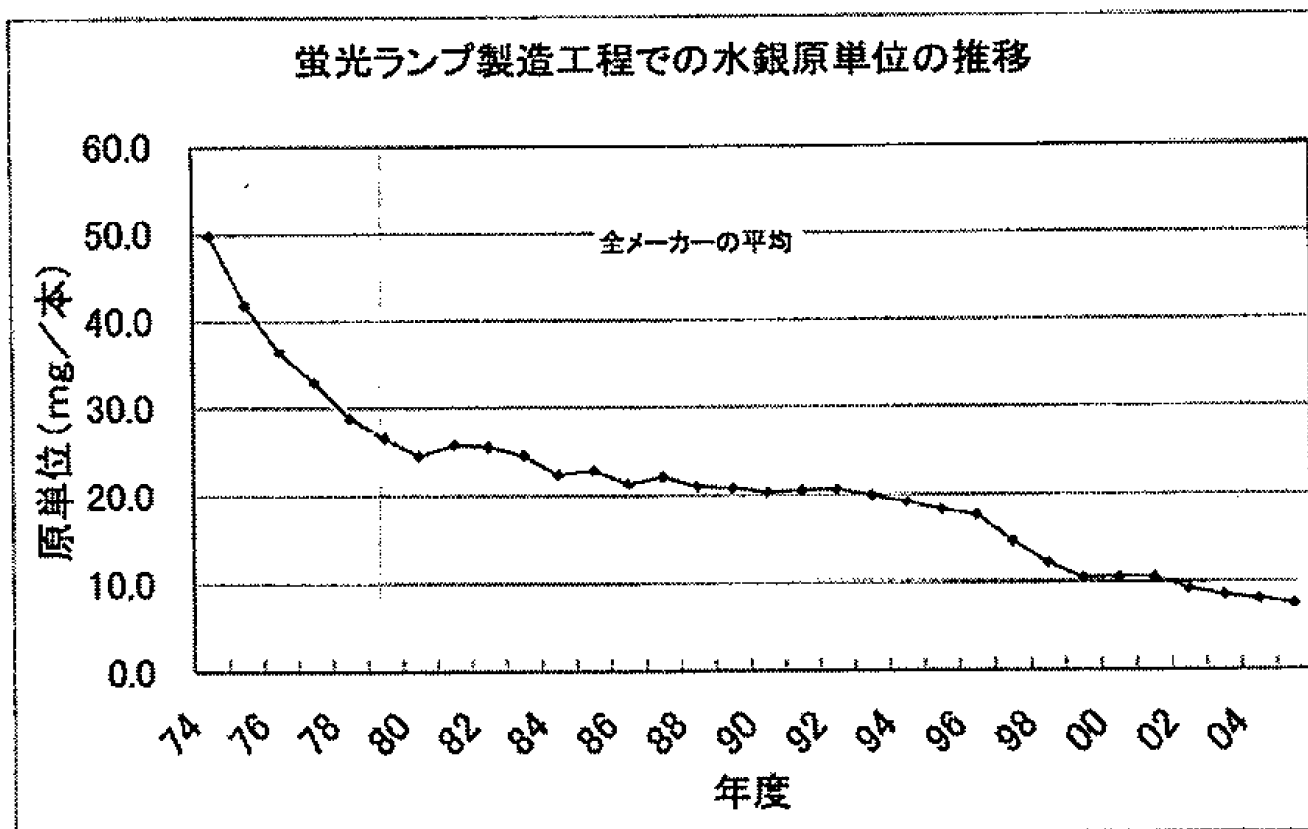


日本における水銀需要量



出典：環境省資料

蛍光ランプ製造工程 水銀原単位推移



出典：(社) 日本電球工業会統計

図 3.1 原単位の推移